



2022～2023年度国際ロータリーテーマ



イマジン  
ロータリー

UEDA EAST  
上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長/母袋創一 幹事/関 邦幸 会報委員長/田守正彦

例 会：毎週水曜日 午後12:30～1:30

会 場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F  
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

U R L : <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>  
E-mail : [uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp](mailto:uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp)

WEEKLY REPORT

APRIL.12.2023 第2060回

## 職業奉仕委員会企画 私の(我が社の)SDGs/環境への取り組み



飯島 洋一君  
(上田プラスチック株式会社)

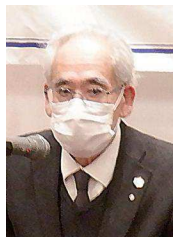
当社は県よりSDGs推進企業として認定を受けておりまして、「2030年までに設定した課題を達成してください」という要請があります。それを受けて環境、社会、経済の3つの枠組みで目標を設定しました。

環境領域では「ISO14001を取得する」「廃棄物を30%減らす」という課題です。ISOは2年前に取得しました。廃棄物も2年で従来比13%ほど削減しています。

社会領域では「ダイバーシティ経営の推進」という課題です。具体的には、女性社員や外国人の登用、活躍を進めるという事です。女性も外国人も管理職はまだおりませんが、一步手前の人は何人もいます。また、女性の技術職を積極的に採用し、自動化やロボットの設計や製作、金型の設計をしてもらっています。TIG様の塚田社長にもいろいろアドバイスを頂戴しながらOJTを進めています。

経済領域では「植物由来の樹脂製品の開発」を課題にしています。当社は利益を求める企業ですので、やはり最後は研究や技術をお金に換えたいという思いがあります。それに向けて取り組んでいます。昨今、樹脂は諸悪の根源みたいと言われておりまして、悪者になっています。まずはその払拭に向けて、小学校や高校の生徒さんに工場見学にきてもらい、プラスチックを知ってもらう取組をしています。

また、お米や杉の粉末を従来の材料に混ぜてプラスチック部品を作ったりしています。普通なら廃棄する調整米とか、間伐材を有効的に利用する訳です。今、当社はある企業と共同して、神社の祠のミニチュアなどをその木材と混ぜて成形するというような事に取り組んでいます。全くビジネスにはなりません(笑)。現在は、研究開発の域を出ていませんが、いずれ社会全体で環境に配慮した製品を使うという流れになり商業ベースに乗った時に、バイオプラの生産ノウハウを持っていれば有利かなと思ってやっているという訳です。



白井 正博君  
(上田バス株式会社)

SDGsの取り組みは、地球規模の環境問題(気候変動)、貧困、紛争、人権問題等々、非常に広義でよくわかりませんが、バス会社としてお客様の安全確保、環境に配慮した車両や人にやさしいバスの導入、親切な対応、災害時における救援活動等、地域と共に歩んでいく企業を目指すという視点で話せば良いのかな、と思って触れます。

以前弊社が上田交通グループの一員であったころ、東急グループにおいてCSR(企業の社会的責任)・コンプライアンス(法令遵守)行動規範を求められたことがありました。平成18年の頃かなと思います。18年以前より、かなり歴史のある取り組みと聞いていました。お客様の安全、法令遵守、目的達成に起こり得るリスク管理、社員の健康管理、ハラスメントを起こさせない教育を始めとする業務管理、社会貢献行動(バス輸送を通じ地域の皆様のご協力、ご理解、ご愛顧があって成立する事業であることを自覚して地域発展に貢献する)を規範とするものです。

また同じ頃、国の方針で経営トップ自らが全社的な安全性の向上のための運輸安全マネジメントを行なうよう指導があり、毎年、1年間の会社の安全に対する目標、行動の指針、具体的な安全教育、マナー向上のための取り組みなどの方針や計画を立て、これを実践し、安全意識の向上を継続的に行いなさい、というもので、この運輸安全マネジメントと相まって、現在も前述のようなことを進めてきているところです。

バス事業は、他の事業もそうであるかと思いますが、車両の導入や維持管理、運転者の労働時間の問題など、その適合には国の基準が定められており、不定期な監査もあり、これを下回る、あるいは上回ることは違反であるということです。安全確保、法令遵守、地域貢献を基本に、より地域の皆さんに親しまれるバスになれるよう繰り返し継続して実践していく、日々その努力を重ねているところです。

- 司会 松山賢太郎君
- 斉唱 「我等の生業」
- ラッキー賞 手塚多佳彦君(季節のフラワーアレンジ)
- 友愛賞 宮澤隆明君、田守正彦君(柳澤君より日本酒「初孫」  
柳澤「知り合いが山形の酒田市にいて東北銘醸のお酒です」  
田村吉宏君(工藤君より金沢土産の日本酒)  
工藤「生酒ですので冷蔵庫に入れて早めにお飲み下さい」



■地区よりRLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)修了書が届く。

玉井権太郎君にRLI修了書とバッジが届き、会長より手渡されました。

母袋会長「塩尻市まで数回出席いただき、お疲れ様でした。これからのロータリー活動にいかしてください。」開催3回(9月4日、11月13日、1月29日)



■会長挨拶

母袋創一 会長



【上田市の上水は、なぜおいしいか?】

「たかが水、されど水」生命の存在には欠かせない水について2回に分けて話します。

日本の水は水道から直接飲めますが、欧州ではアクアとして販売される水を利用している違いがありますし、日本酒はなぜうまいか?それは軟水で作られているからで、この要素は大きい。

一般的においしい水の条件は5つあり、ミネラル分・水の硬度・遊離炭酸の有無・蒸発残留物・水温によると言われる。勿論、個人差によりおいしい水の違いはある。

まず、科学的分析も加えてこれらについて説明すると、

①ミネラル 天然水にはナトリウム(Na)、カルシウム(Ca)、マグネシウム(Mg)、カリウム(K)の4大ミネラル他、亜鉛・鉄分などが溶けています。この量により、味がまるやか、又コクがあったりと感じます。

②硬度 ミネラル成分の内カルシウム(Ca)・マグネシウム(Mg)の量により決まる。硬水か軟水かに分ける値は、120mg/lを堺にして0～120mg/l未満が軟水、120以上が硬水と大きく分けられる。日本人の口には軟水が合い、硬水より「おいしい水」と感ぜられる傾向があり、一般的にも「おいしい水は10～100mg/lとされています。もう少し詳しく述べると、軟水はクセが無い分、お茶・コーヒー・そば・ご飯など素材の邪魔をしないこと。硬水は炭酸ガスも含め好き嫌いが生まれる。

③遊離炭酸 炭酸ガスのこと。適度な量なら「水のさわやかさ」を感じ、多過ぎると強い刺激になります。

④蒸発残留物 水を沸騰させても蒸発しない物質がミネラル・鉄分には含まれます。量が多いと苦味・渋み、ちょうど良ければコク・まるやかさを、より感じられる。「おいしい水」は30～200 mg/l。

⑤水温 常温より冷たい方がおいしさを感じられる傾向にある。10～15℃が「おいしい水」。

私はこの度、店でペットボトルの水を買い、ボトルに記された成分比較をしながら飲んでみました。はっきりした違いは判りませんでした。上田市の水道水は程良い調べで「うまい」と感じます。ペットボトルの水は4種類のメーカー品、そこに染谷浄水場の水、欧州と水とそれぞれ比較すると、数値に確かに違いがあり、それぞれの個性が窺われます。(以下、次号に掲載します)

■幹事報告

関 邦幸 幹事

- ・米山奨学生に関する業務委託/覚書締結の書類。
- ・アクト地区代表よりローターアクト年次大会のご案内。  
5月20日(土) アルピコプラザホテル
- ・会報恵送：上田RC、上田六文銭RCより。

■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	49	45	13	—	71.11%
前々回	49	43	18	15	93.02%

ニコニコBOX

(敬称略)

上原、小田中、北村、工藤、後藤、小林、塩之入、白井 関(邦)、高野、滝澤、玉井、田村、田守、塚田、手塚(た) 西入、林、松山、蓑輪、宮坂、宮澤、母袋(創)、母袋(卓) 柳澤、山寺、山本、渡辺

- ※母袋創一君/「職業奉仕」の各社卓話、楽しみです。
- ※山寺高太郎君/飯島さん、白井先輩、宮澤さんの卓話 楽しみにしています。
- ※蓑輪佳明君/地区協の公共イメージ向上部にZOOMで出席。キーワードは「古着deワクチン」。
- ※工藤 恒君/久しぶりに県外へ行ってきて深呼吸をしてきました。海風が気持ち良かったです。
- ※母袋卓郎君/コロナが減ると会議が増える。東奔西走。
- ※塩之入永子君/もう葉桜ですが上田公園のしだれ桜がきれいでした。そして黄砂!嫌ですねえ。
- ※関 邦幸君/桜のあとは今日から黄砂、心配です。
- ※松山賢太郎君/ラッキー賞頂きました。美しい花々に毎日話しかけています。
- ※山本 修君/母袋会長、京都の菓子おいしかったです。
- ※渡辺敏成君/松井君からの置き土産(ワイン)を頂いて。彼の姿を思い出しながらいただきます。

本日の金額/46,000円 累計/1,148,000円